

2010年度 事業報告書

1 はじめに

今日、現職会員は、多様化・複雑化する教育課題への対応で、ますます多忙化を極め、退職会員は、社会保障制度が先細りするなかで、老後への不安を抱えるなど会員を取り巻く生活環境は、依然として厳しい状況が続いています。

兵庫県学校厚生会においては、新行財政構造改革推進方策に伴う補助金削減や会員構成の変化と掛金収入の減少、さらには法人移行への対応など、多くの課題に直面しています。

このような状況のなか、本年度は「第2次経営改革中期計画（2008年度～2010年度）」の最終年次として、会員サービスの向上を目指し、合理的かつ効果的な事業運営等を行うために事業の効率化と管理運営費等の一層の削減を行いました。また、継続して諸改革に取り組むために「第3次経営改革中期計画（2011年度～2013年度）」の策定を行いました。

本年度における事業推進の主な取り組み状況は、次のとおりです。

2 事業について

(1) 3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、各地域に甚大な被害を及ぼしました。

兵庫県学校厚生会では、直ちに災害対策本部を立ち上げ、被災地域会員の安否、被害状況の確認、被災地支援のため義援金の受付を実施することとし、全会員の協力を得ながら募金活動を行っています。

(2) 福祉厚生事業については、会員の信頼と期待に応えられるよう事務の効率化と経費削減を行い、事業原資の確保や会員への給付水準の維持に努めました。

(3) 給付事業では、育児・介護休業法等が改正されたことに伴い、「育児手当金（育児休業）」の給付要件を一部改正し、仕事と家庭の両立を支援しました。

(4) 福祉事業では、「歩く」を基本に元気回復・リフレッシュを目的とした健康管理事業や、本支部合同による低廉で内容豊富な日帰りバス旅行を実施しました。また、子育て支援として、子育て中の会員を対象に「ふれあい親子セミナー」、介護支援として、介護講座、認知症予防講座を実施しました。

(5) 総合相談事業については、会員の日常生活で生じるさまざまな不安や悩み、トラブル等を解消するため専門家による各種相談に対応しました。

(6) 公益事業については、教育文化事業として「かるちゃー教室」をはじめ、アートホール神戸・明石での「自主企画展」や「写真公募展～こどもの世界～“愛”」、「親から子へ・子から親へのハガキ大募集」を開催しました。

(7) 施設事業については、学校厚生会館、サンピア明石及び各活動センターの会議室や駐車場の広報活動に努め会議室の利用促進に取り組みました。

(8) 預金事業については、会員の財産形成支援のため、市中金融機関より高い預金利率を維持するとともにボーナス預金の募集期間に合わせ、1年もの定期預金利率に上乗せ利率を設定し募集強化に努めました。

また、会員の退職後の年金資産の形成と退職金等一時金の有利な運用先として、ハイブリッド積立（貯蓄年金型積立）を開発し、2011年3月1日から取扱いを開始しました。

(9) 貸付事業については、会員の金利負担軽減と持ち家促進を目的とした貸付事業の推進に重点を置いた取り組みを継続しました。

また、低い金利で利用可能な「エコ貸付」の取扱いを開始するなど、会員支援に努めました。

(10) 団体保険事業については、厚生会グループ保険を中心に共済制度の趣旨と団体保険の有利性を広報するとともに、会員一人ひとりの状況に応じた適切な保障内容の提案に努めました。

また、退職後の生活の安定とゆとりある生活設計をサポートするため、信用共済事業と連携し新たにハイブリッド積立（拠出型企業年金保険）の取扱いを開始しました。

(11) 支部での事業推進については、会員の事業参加率向上とニーズの把握を目的に、所属所及び各種関係団体と連携した説明会を計画的に実施し、事業への理解を深めました。

(12) 地域福祉コミュニティづくりについては、会員一人ひとりが主役となる活動を通して、連帯意識を高めるための体制づくりを進めました。

以上のように、2010年度における兵庫県学校厚生会事業の取り組みについて概要を述べましたが、掛金・補助金の減少等、様々な課題に直面するなかで給付水準の維持に努めました。

今後も会員を支え、会員の生活安定に寄与する総合福祉団体として会員からの信頼と期待に応え続けるため、役職員一同力を合わせ取り組んでまいります。

1 会 員 数

現職会員、退職会員数等については、次のとおりです。

2011年3月31日現在
(単位：人)

地区 区分	神戸	阪神	東播	北播	中播	西播	但馬	丹波	淡路	県外	合計	前年 同期	比較 増減
現 職 会 員	9,667	9,358	4,963	2,533	4,593	2,769	2,052	2,176	1,346	0	39,457	39,664	△ 207
現 職 準 会 員	8	4	3	0	1	1	5	0	0	0	22	35	△ 13
退 職 会 員	5,674	4,281	2,780	1,822	2,825	2,144	2,077	1,404	1,249	1,203	25,459	24,665	794
退 職 準 会 員	7	10	2	2	5	3	2	1	3	4	39	41	△ 2
遺 族 会 員	279	124	58	25	74	47	85	49	59	34	834	816	18
合計	15,635	13,777	7,806	4,382	7,498	4,964	4,221	3,630	2,657	1,241	65,811	65,221	590

現職会員数内訳

地区 区分	神戸	阪神	東播	北播	中播	西播	但馬	丹波	淡路	合計	前年 同期	比較 増減	
幼 稚 園	195	284	282	46	153	84	40	15	20	1,119	1,146	△ 27	
小 学 校	県	3,932	4,246	2,049	1,081	1,939	1,174	954	990	680	17,045	17,138	△ 93
	市町	0	2	6	0	0	4	0	4	1	17	20	△ 3
中 学 校	県	2,141	2,073	1,196	620	1,093	631	480	516	341	9,091	9,093	△ 2
	市町	3	20	1	3	0	0	0	2	1	30	35	△ 5
高 校	県	1,225	1,453	1,033	634	725	567	439	478	230	6,784	6,834	△ 50
	市町	723	374	50	0	148	0	0	0	0	1,295	1,320	△ 25
特別養育 支援学 校	県	734	465	260	149	262	200	139	170	57	2,436	2,431	5
	市町	17	1	0	0	0	0	0	0	0	18	19	△ 1
大 学	県	237	0	86	0	273	109	0	0	16	721	727	△ 6
	市町	149	0	0	0	0	0	0	0	0	149	147	2
関係団体等	311	440	0	0	0	0	0	1	0	752	754	△ 2	
合計	9,667	9,358	4,963	2,533	4,593	2,769	2,052	2,176	1,346	39,457	39,664	△ 207	
内 訳	県	8,269	8,237	4,624	2,484	4,292	2,681	2,012	2,154	1,324	36,077	36,223	△ 146
	市町	1,087	681	339	49	301	88	40	21	22	2,628	2,687	△ 59
	その他	311	440	0	0	0	0	0	1	0	752	770	△ 18